

団体名：下地自主防災会（SEA）

事業名：地域目線の防災活動・ご近助さんのススメ

様式第2（第8条関係）

事業計画書

No.（つつじ補助金・くすのき補助金）

①事業の区分 <small>（該当する事業にチェック）</small>	(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(1) 国際協力を行う事業	<input type="checkbox"/>
	(2) 社会教育の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(2) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(3) まちづくりの推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(13) 子どもの健全育成を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(4) 観光の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(14) 情報化社会の発展を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(15) 科学技術の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(16) 経済活動の活性化を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(7) 環境の保全を図る事業	<input type="checkbox"/>	(17) 職業能力の開發又は雇用機会の拡充の支援を行う事業	<input type="checkbox"/>
	(8) 災害救援事業	<input checked="" type="checkbox"/>	(18) 消費者の保護を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(9) 地域安全事業	<input checked="" type="checkbox"/>	(19) 公益財団法人等の活動に関する助成、助成又は助成を行う事業	<input type="checkbox"/>
	(10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(20) 前各号に掲げる事業に準ずる活動として数基の条規で定める事業	<input type="checkbox"/>
②現状把握・分析・事業目的 <small>必要性</small>	<p>（事業実施の理由、地域課題の解決につながる事業の目的）</p> <p>下地町は一級河川豊川に隣接し土地が低く過去には多くの浸水被害を経験してきた。最近では行政の努力もあり被害は格段に減少傾向にある。しかし近々では過去の想定以上の天災が起こっている事に加え、一人暮らしの高齢者を始めとする避難行動要支援者が増加の傾向にある。高齢者世帯を把握している民生委員も守秘義務ため個人情報オープンにはできず、手を差し伸べるべきお隣さんが見えていない問題がある。本事業は減災マップを足掛かりに『ご近所さん』が『ご近助さん』になることを目的とし地域のつながりを再確認し有事に備えるものである。</p>			
③事業内容（詳細） <small>実効性</small>	<p>昨年度下地大通2丁目が独自に行った減災マップづくりの実施資料を基に下地自主防災会が各町と連携し減災マップの作成をする。1年目は5町自治区全1066戸に『避難行動聞き取りシート』及び企業・事業所へのアンケートを実施。聞き取りシートを返じて聞き取り担当者が高齢者等の状況を把握。減災マップの基礎となる地図を市役所の白地図を土台に地域マップに身近な防災情報を掲載し作成。印刷。印刷物配布。個々の避難行動要支援者に必要な援助を把握し『ご近助』さんの必要性をアピールしていく。</p>			
④スケジュール <small>実効性</small>	事業期間	（事業着手日） 令和 8 年 6 月 1 日から （初年度事業終了日） 令和 9 年 3 月 31 日まで		
	実施日	内容	会場	参加者数見込
	7 月	避難行動聞き取りシート 事業所アンケート	各町内・市民館 各町内・市民館	46 人×3 日 25 人×2 日
	9 月－12 月 1 月 3 月	地図作成開始 地図配布	下地市民館 各町内	6 人 25 人×2 日
⑤周知方法・対象	防災会会議・自治会会議・全下地校区住民（該当町内）回覧・直接面会			
⑥実施体制 <small>実効性</small>	（実施メンバー） 各エリア防災会メンバーを中心に各町自治会執行部と連携			

(つつじ補助金・くすのき補助金)

<p>⑦事業が公共の利益に寄与すると考える理由及び事業実施による市民(地域)への波及効果</p> <p style="text-align: center;"><b>公益性・実効性</b></p>	<p>豊橋市のすすめる避難行動要支援者事業をより身近な問題としてとらえ『地域による共助』がいかに大切であるか、またそのために何ができるかを向こう三軒両隣の範囲から解決していく。またこの活動はすでに他の町内からの波及事業であり今後も後に続く自治体があることを期待している。また先日NHKの取材を受け全国放送されたことにより早速 静岡県焼津市の自治会からの問い合わせをいただき資料を送付した。</p>
<p>⑧事業実施後の活動について</p> <p style="text-align: center;"><b>継続性</b></p>	<p>私たちが活動する中で起きた問題・解決方法を細かく記録し次の人たちへバトンを繋げていきたい。</p>

(くすのき補助金)

<p>⑨事業の創作的又は開拓的である部分</p> <p style="text-align: center;"><b>先駆性</b></p>	<p>私たちは国や県そして市より有事の際に自身の身を身を守るための資料をたくさん目にし手に取ることができる。この事業は真面目に資料を読み自身に当てはめたひとりの60代の女性の『不安』から生まれた。家には要介護の家族がいる自分は一ひとりならどうにか避難することができる、その時自分は家族を見捨てるのか？この不安を誰かにわかってほしい。ご近所さん助けてください……。この事業は要支援者だけでなくその家族の不安をぬぐうための事業でもある。先駆性は『校区は大きな家族』</p>
<p>⑩事業で団体の持つ専門性が生かされている部分</p> <p style="text-align: center;"><b>専門性</b></p>	<p>最終的な造作物は減災マップではあるが、本来の目的はマップをつくることではなくその過程にある。一軒一軒訪問しアンケートを取りながら各家庭の必要としていることを理解し寄り添う。専門性は『ご近所さん』</p>

備考 内容の記載は簡潔にお願いします。なお、必要に応じて各項目の枠を広げて使用できます。